

「コメディカルのための専門基礎分野テキスト 内科学」〈6版1刷〉正誤表

(2019年1月現在)

「コメディカルのための専門基礎分野テキスト 内科学」〈6版1刷〉をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書に以下の誤りがございましたので、ここに訂正・加筆させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

13頁 下から3行め

(誤) ○AST (GOT) , ALT (GPT) , LDH, CPK (creatinine phosphokinase) は, 心筋梗塞急性期に上昇.

○AST, ALT は肝疾患でも上昇, CPK は筋肉疾患でも上昇.

(正) ○心筋梗塞急性期の心筋マーカーに上昇.

○CK-MB (クレアチニンキナーゼ) , H-FABp (心臓型脂肪酸結合蛋白) , トロポニンT (TnT)

15頁 上から7・8行め

(誤) ○腎臓から分泌されるホルモン: レニン, エリスロポエチン, 活性型ビタミンD.

(正) ○腎臓から分泌されるホルモン: レニン, エリスロポエチン

25頁 上から13行め

(誤) ○腸腺は, 消化酵素 (アミラーゼ, リパーゼ, プロテアーゼ) を分泌する.

(正) ○膵臓は, 消化酵素 (アミラーゼ, リパーゼ, プロテアーゼ) を分泌する.

27頁 上から11行め

(誤) ① 消化性潰瘍: 心窩部痛で, 空腹時に起こり, 食事摂取で軽減.

(正) ① 消化性潰瘍: 心窩部痛で, 十二指腸潰瘍は空腹時に起こり, 胃潰瘍は食後に起こる.

31頁 上から11行め

(誤)アポ蛋白と結合し, リポ蛋白として血液中に分泌される.

(正)アポ蛋白と結合し, VLDL (超低密度リポタンパク質) として血液中に分泌される.

33頁 上から18行め

(誤) 脂肪肝ではAST > ALT, アルコール性肝炎ではALT > AST.

(正) 脂肪肝ではAST < ALT, アルコール性肝炎ではALT < AST.

40頁 上から10行め

(誤)ほぼ一定 (75 ~100 mg) に保たれる.

(正)ほぼ一定 (75 ~100 mg/dL) に保たれる.

40頁 下から4行め

(誤)分子末端にアミノ基 (NH₃) と.....

(正)分子末端にアミノ基 (NH₂) と.....

- 41頁 上から1行め
(誤) ○必須アミノ酸：リジン, バリン, ロイシン, イソロイシン, スレオニン, メチオニン, トリプトファン, フェニルアラニンがあり,
- (正) ○必須アミノ酸：リジン, バリン, ロイシン, イソロイシン, スレオニン, メチオニン, トリプトファン, フェニルアラニン, ヒスチジンがあり,
- 41頁 上から15行め
(誤)水に溶けない脂質が, アポ蛋白と結合して,
- (正)水に溶けない脂質が, アポリポ蛋白と結合して,
- 41頁 下から8行め
(誤) ○中性脂肪は, リパーゼにより.....
- (正) ○トリグリセライドは, リパーゼにより.....
- 43頁 下から2行め
(誤) ○リポ蛋白は, 低比重 (LDL), 高比重 (HDL) リポ蛋白に分けられる.
- (正) ○リポ蛋白は, キロミクロン (カイロミクロン), 超低密度 (VLDL), 低密度 (LDL), 高密度 (HDL) に分けられる.
- 45頁 下から3行め
(誤) ○視床下部ホルモンは,
- (正) ○視床下部ニューロンのホルモンは,
- 45頁 下から1行め
(誤) ○下垂体ホルモンは, 下垂体茎を通り, 下垂体前葉に到達する.
- (正) ○下垂体ホルモンは, 視床下部の大型ニューロンで合成されたホルモンはその軸索に蓄積され, 後葉ホルモンとして分泌される.
- 46頁 下から1行め
(誤) ○副甲状腺ホルモン (パラトルモン) は, Ca の遊離,
- (正) ○副甲状腺ホルモン (パラトルモン) は, 骨からのCa の遊離,
- 49頁 上から9行め
(誤) ○最近の20 年間に.....
- (正) ○最近の40 年間に.....
- 50頁 上から5行め
(誤)腸チフスでは, 減少.
- (正)腸チフスでは, 白血球の減少.
- 55頁 上から4行め
(誤) ○交感神経は, 胸・腰髄から出て, 交感神経節に入り, 内臓に分布する.
- (正) ○交感神経は, 胸・腰髄から出て, 交感神経節に入り, 節後線維が内臓に分布する.
- 56頁 表11 下から3行め
(誤) 註 R : Restlessness, I : Incontinence
- (正) 註 R : 不穏Restlessness, I : 失禁 Incontinence
- 60頁 下から7行め
(誤) MRI (核磁気共鳴画像法)
- (正) MRI (磁気共鳴画像法)

- 77頁 表24 表名
(誤) 主要降圧薬の積極的適応と禁忌
(正) 主要降圧薬の積極的適応
- 81頁 上から6行め
(誤)高血圧, 高脂血症,
(正)高血圧, 脂質異常症,
- 84頁 上から13行め
(誤)また, 抗狭心症薬や高脂血症の治療.....
(正)また, 抗狭心症薬や脂質異常症の治療.....
- 93頁 上から6行めの下に追加
(誤) *3: 2013年12月の時点では保険適応未承認.
(正) *3: 2013年12月の時点では保険適応未承認.
・INRはPT-INRの略で、国際標準化したPT (prothrombin time)
- 108頁 下から2行め
(誤)高血圧や糖尿病, 高脂血症などの.....
(正)高血圧や糖尿病, 脂質異常症などの.....
- 165頁 下から1行め
(誤) 視診で, ビヤ樽状胸郭, 補助呼吸筋の使用,
(正) 視診で, ビヤ樽状胸郭, 胸鎖乳突筋などの補助呼吸筋の使用,
- 166頁 図50
(誤) a) 正面像, b) 側面像
(正) a) 正面像: 肺過膨張・X線透過性亢進・滴状心,
b) 側面像: 胸骨下のX線透過性亢進・心陰影下部のX線透過性亢進
- 232頁 上から6行め
(誤) ② 砂糖などを常備させる.
(正) ② グルコースあるいは砂糖などを常備させる.
- 232頁 下から4行め
(誤)そして中性脂肪の3値を.....
(正)そしてトリグリセライドの3値を.....
- 233頁 上から5行め
(誤)または中性脂肪高値)
(正)またはトリグリセライド高値)
- 234頁 下から2行め
(誤)腸管循環を断つ.
(正)腸肝循環を断つ.
- 236頁 上から14行め
(誤) 血清尿酸値が7.0~7.9の.....
(正) 血清尿酸値が7.0~7.9 mg/dLの.....

236頁 上から16行め

(誤) 血清尿酸値が8.0 以上の.....

(正) 血清尿酸値が8.0 mg/dL以上の.....

239頁 表86 カルシウム薬

(誤) L-アスパラギン酸カルシウム

(正) L-アスパラギン酸カルシウム

242頁 下から1行め

(誤) ピトレッシン注射で.....

(正) ピトレシン (バソプレシン製剤) 注射で.....

250頁 上から13行め

(誤) 回復期：解熱と発疹の.....

(正) 回復期：下熱と発疹の.....

252頁 上から9行め

(誤) ○新型インフルエンザ (H5N2 鳥インフルエンザなど)

(正) ○新型インフルエンザ (H5N1 鳥インフルエンザなど)

358頁 上から16行め

(誤)糖尿病, 高脂血症, 喫煙が.....

(正)糖尿病, 脂質異常症, 喫煙が.....

364頁 下から6行め

(誤)形成されるウイルス動脈輪の.....

(正)形成されるウイルス動脈輪の.....

367頁 下から5行め

(誤)ドパミン前駆体 (L-DOPA)

(正)ドパミン前駆体 (L-DOPA)

367頁 下から2行め

(誤) L-DOPA は効果が強いが,

(正) L-DOPA は効果が強いが,

「コメディカルのための専門基礎分野テキスト 内科学 6版〈6版1刷〉」正誤表
(2017年10月現在)

このたびは「コメディカルのための専門基礎分野テキスト 内科学 6版〈6版1刷〉」
をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書に以下の誤り・加筆がございま
したので、ここに訂正・加筆させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

61頁 表13 「古典的膠原病と類縁疾患」表中14行目

(誤) 7. 血栓性血小板減少性紫斑病 (TTT)

(正) 7. 血栓性血小板減少性紫斑病 (TTP)

表 13 古典的膠原病と類縁疾患

古典的膠原病	1. 関節リウマチ (RA) 2. 全身性エリテマトーデス (SLE) 3. 進行性全身性硬化症 (PSS) 4. 皮膚筋炎 (DM) 5. リウマチ熱 (RF) 6. 結節性多発動脈炎 (PAN)
膠原病類縁疾患	1. シェーグレン病 2. ライター病 3. フェルティ病 4. ベーチェット病 5. 大動脈症候群 (脈なし病 pulseless disease) 6. ヴェーゲナー肉芽腫 7. 血栓性血小板減少性紫斑病 (TTP)